



震災特別号

発行所 岩手県行政書士会 発行人(会長) 中澤弘文  
盛岡市菜園一丁目3番6号 農林会館5階

平成23年4月11日発行

TEL 019-623-1555 FAX 019-651-9655

**このたびの震災により、被災された会員、ご家族の皆様には心よりお見舞い申し上げます。**

### **岩手県沿岸部の被災状況調査をしました。**

平成23年4月4日～5日、今回の震災により甚大な被害を受けた岩手県沿岸部の被災状況を正副会長及び広報監察部長の4名にて調査しました。

調査地域は陸前高田市、大船渡市、釜石市、山田町、宮古市で、宮古市より北の地域は久慈支部長より会員の安否及び被災状況について情報が得られておりましたので、今回の調査は見送りとさせていただきます。

被災地域を通過する国道45号は建物損壊がれき類が撤去され、通行は可能でしたが、国道に接続する周辺生活道路ではいたるところでがれき類の撤去が行われており、市街地内部の詳細な調査はできませんでした。

今回調査した地区の会員は大船渡支部10名(大船渡市8名、陸前高田市2名)、釜石支部6名(釜石市6名)、宮古支部21名(宮古市11名(田老地区含)、山田町6名、岩泉町3名、田野畑村1名)で、事前の電話、メーリングリスト等による安否確認調査ではほとんどの方が無事であるとのことでしたが、安否不明会員が釜石支部で1名、大船渡支部(陸前高田市)で1名おりました。

調査した結果、釜石支部の会員は自宅隣人からの情報で無事であることが確認されました。陸前高田市の1名の安否は確認出来ませんでしたが、後日、本人無事との情報が得られ、これにより会員全員の安否が確認できております。

また、会員の自宅や事務所の流出状況ですが、陸前高田市では市街地における建物がほとんど流出しており、状況の確認ができませんでした。

大船渡市内では数名の会員の自宅、事務所の被災あるいは損壊の有無が確認できたただけでした。

その他の地区においては前述のとおり、市街地内部への通行が制限されていたため、被災が想定される会員の自宅または事務所の詳細な確認ができませんでした。

今回の調査においては、大船渡支部長、釜石支部長、宮古支部長に引き続き会員の安否について調査をお願いするとともに、国、県等が打ち出している支援対策内容をまとめた資料を手渡し、今後の県民支援活動への協力をお願いいたしました。

会員の皆様におきましても、県民支援へのご協力をお願いいたします。

(報告 広報監察部長 筒井 寧)

## 岩手県沿岸部 被災状況写真

### 陸前高田市



海岸部の建物は津波により壊滅、流出。名勝「高田松原」消滅。

### 大船渡市



大船渡港付近。大船渡駅をはじめ建物は津波により壊滅、流出。

### 宮古市（田老地区）



津波は高さ10mの防潮堤を越え集落を壊滅させた。

岩手県行政書士会ホームページ <http://iwate-gyosei.jp/>の「震災関連情報」に沿岸部の被災状況写真を掲載しています。